http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-258-761-**03**(1)

4258761030

SONY

レンズ交換式デジタル HD

ビデオカメラレコーダー

取扱説明書



E-mount

HANDYCAM

NEX-VG10

⚠警告 安全のために

→ 58 ～ 61 ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

⬇

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや AC アダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・ においがしたら 煙が出たら	➡	❶ 電源を切る ❷ 電池を外す ❸ ソニーの相談窓口に連絡する

63 ページに**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く　指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

レンズ交換式デジタルHD
ビデオカメラレコーダー

NEX-VG10

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

準備

撮影と再生

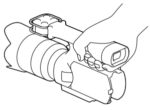
パソコン編集

その他

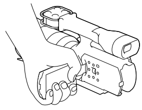
はじめにお読みください

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

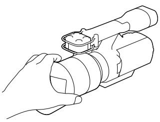
- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。



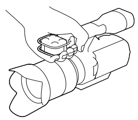
ファインダー



液晶パネル



レンズ

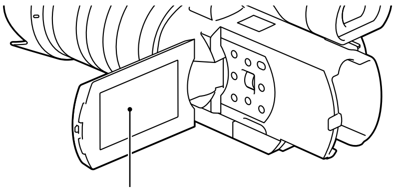


内蔵マイク

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください（40ページ）。

液晶画面、ファインダー、およびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影・再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99％以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



黒、白、赤、青、緑の点

- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。本機の内部が故障することがあります。また、太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽など強い光源に向けないでください。故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

撮影・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機で初めてお使いになる場合は、まず本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 必ず事前に試し撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 万一、本機やメモリーカードなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、

展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

- 本機の 🎞(動画)/ 📷(静止画)ランプ(24ページ)やアクセスランプ(22ページ)が点灯、点滅中に次のことをしないでください。記録した動画、静止画が失われる場合があります。また、メモリーカードや本機の故障の原因になります。
  - メモリーカードを取り出す
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取り外す
- 取り外したレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因になります。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、メモリーカードが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- ショルダーベルト(別売)の使用中は、本機を物にぶつけやすいため、特に気をつけてください。

ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクについて

AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

本書では、ハイビジョン画質(HD)で保存したディスクを「AVCHDディスク」と表現しています。

撮影した画像データは保存してください

- 万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピー(バックアップ)をおとりください。
- [録画モード]を[FX 24M]にして撮影した動画からAVCHDディスクを作ることはできません。ブルーレイディスクに保存してください。

バッテリー・ACアダプターについて

- バッテリーやACアダプターは、電源を切ってから取り外してください。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取り外してください。

本機やバッテリーの温度について

本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます。

次のページにつづく……▶

取扱説明書について

本機には、基本的な操作方法を記載した「取扱説明書」(本書)と機能の詳細やディスクの作成方法が記載された「“ハンディカム”ハンドブック」があります。

取扱説明書

「**基本操作編**」として、本機の準備、撮影、再生、パソコンの準備と画像取り込みなどを記載しています。

“ハンディカム”ハンドブック

「**機能詳細編**」として、メニューの詳細、パソコンを使ったディスク作成、レコーダーを使ったディスク作成などを記載しています。

パソコンで“ハンディカム”ハンドブック(PDF)を見るには

- 付属のCD-ROMから「“ハンディカム”ハンドブック」をインストールしてください。
  お使いのパソコンがWindowsのときは、インストール画面で[ハンドブック] → 言語とお使いの機種名 → [インストール]をクリックし、画面に従ってインストールしてください。デスクトップにショートカットができます。
- Macintoshのときは、CD-ROM内の[Handbook] - [JP]フォルダから[Handbook.pdf]をコピーしてください。
- “ハンディカム”ハンドブックを見るにはAdobe Readerが必要です。アドビ社のホームページから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

NEX-VG10の描く映像世界



大型イメージセンサー

APS-Cサイズ（23.4 mm × 15.6 mm）の大型CMOSイメージセンサーを搭載。
その受光部の面積は、例えば従来のビデオカメラでよく使われる1/3インチセンサーに比べると、約20倍の面積を有しています。
イメージセンサーが大きいほど被写界深度が浅くなり、「ボケ味」を生かした映像表現で、被写体を際立たせる動画撮影が可能になります。

交換式レンズシステム

ソニーが開発した、Eマウント式交換レンズを採用。
付属のEマウントレンズは、光学手ブレ補正機能（アクティブモード）を内蔵した11倍の高倍率ズームレンズ。
別売のマウントアダプターを使えば、豊富なラインナップのαレンズ（Aマウントレンズ）を装着可能。
被写体や撮影テーマに応じてレンズを使い分けられます。多彩な個性のレンズが映像表現の幅を広げます。

マニュアル操作性

動画撮影時に、絞り優先/シャッタースピード優先/フルマニュアル露出調整や、ゲイン調整、ホワイトバランス調整などが可能。
快適な操作性を実現するためにコントロールダイヤルと専用ボタンを用意。クリエイティブな使いこなしをサポートします。

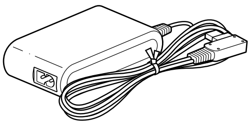
高性能マイク

4個のマイクカプセルを搭載したアレイマイク方式を採用。
信号処理によって正確な指向性を生成し、臨場感と前方指向性を両立。ノイズを抑えたクリアな音声を収録し、フルハイビジョン映像の魅力をより一層高めます。

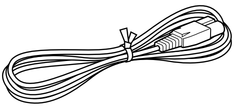
付属品の確認

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。(　　)内は個数。

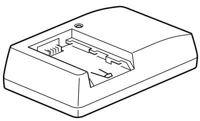
ACアダプター AC-PW10AM/AC-PW10(1)



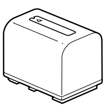
電源コード(1)



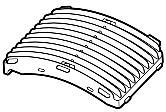
バッテリーチャージャー BC-VH1(1)



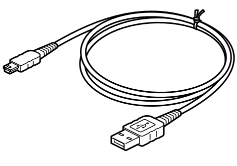
リチャージャブルバッテリーパック
NP-FV70 (1)



バッテリーカバー(1)



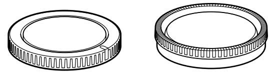
USBケーブル(1)



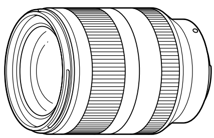
ウインドスクリーン(1)



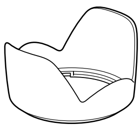
ボディキャップ(1)/レンズリヤキャップ(1)



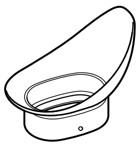
高倍率ズームレンズ(E 18-200mm F3.5-6.3 OSS)(1)(レンズフロントキャップ含む)(本機に装着)



レンズフード(1)



大型アイカップ(1)



CD-ROM [Handycam Application Software] (1)

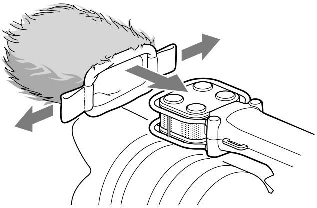
- 「PMB」
- "ハンディカム"ハンドブック

取扱説明書(1)
"ハンディカム"ハンドブック(紙版)(1)
保証書(1)

付属品の取り付けかた

ウインドスクリーンの取り付け

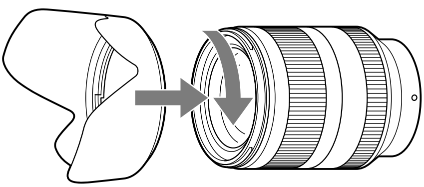
屋外撮影で、マイクから収録される風吹かれ音を低減したいときに使います。
SONYロゴが付いているほうを下に向けて装着します。



レンズフードの取り付け

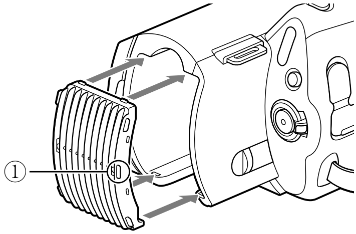
レンズフードの赤線をレンズの赤線に合わせてはめ込み、レンズフードの赤点とレンズの赤点が合って「カチッ」というまで時計方向に回します。

- フラッシュ（別売）を使って静止画を撮影するときは、フラッシュ光が遮られることがありますので、レンズフードを外してください。
- 撮影後レンズフードを収納するときは、逆向きにレンズに取り付けてください。



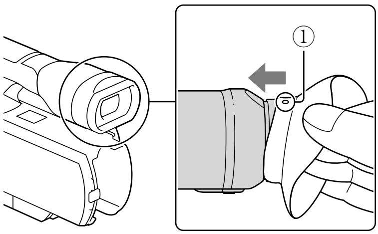
バッテリーカバーの取り付け

突起部（①）を図の向きにして取り付けてください。



大型アイカップの取り付け

突起部（①）が真上になるように本体のファインダーの溝に合わせて取り付けてください。
周囲が明るすぎるときなど、ファインダーの画像が見にくいときに便利です。

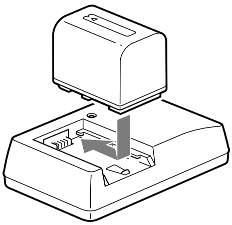


バッテリーの準備

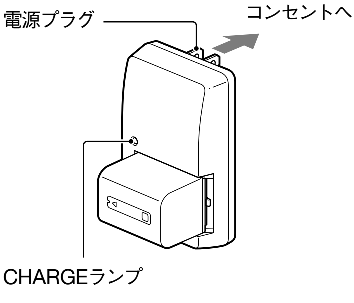
充電

バッテリーの充電は、付属のバッテリーチャージャーで行います。バッテリーを本機に取り付けた状態で充電することはできません。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに入れます。



2 電源プラグを引き起こし、コンセントに取り付けます。
CHAEGEランプが点灯します。
点灯：充電中
消灯：実用充電完了
消灯後1時間：満充電完了



充電時間

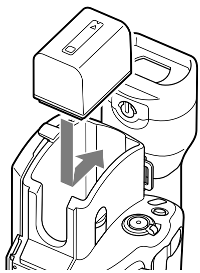
使い切った状態からのおよその所要時間（分）です。充電時間は、使用状況や環境によって多少変動します。撮影可能時間は39ページをご覧ください。

バッテリー型名	満充電	実用充電
NP-FV70（付属）	550	490
NP-FV100	960	900

- 25℃の環境下での目安。
- 周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。この範囲外では、効率のよい充電ができないことがあります。

取り付け

押しながら、「カチッ」というまで上にずらして取り付けます。



バッテリー残量の確認

液晶画面またはファインダーの残量表示マークで確認できます。

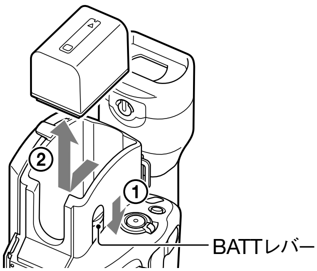
残量	
	多
	↓
	
	
	少
「電池がなくなりました」	撮影できません

ご注意

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

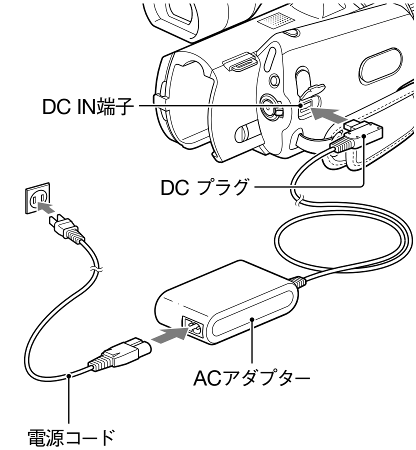
バッテリーの取り外し

電源スイッチを「OFF」にして、BATTレバーを押しながら（①）、取り外します（②）。



コンセントの電源で使う

ACアダプターに電源コードをつなぎ、本機とコンセントにつなぎます。
DCプラグは ▲ マークを合わせてつないでください。



ご注意

- ACアダプターをつないでも、本機に取り付けたバッテリーを充電することはできません。

海外で使うには

バッテリーチャージャーやACアダプターは全世界（AC100V ～240V、50Hz/60Hz）で使えます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

ご注意

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用しないでください。

次のページにつづく…▶

バッテリーの準備（つづき）

バッテリーについて

- バッテリーやACアダプターを取り外すときは、電源スイッチを「OFF」にして、🎞/📷ランプが消えていることを確認してください。
- 次のときにバッテリーチャージャーのCHARGEランプが点滅することがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーの温度が低いとき
  バッテリーを外して暖かいところに置いてください。
  – バッテリーの温度が高いとき
  バッテリーを外して涼しいところに置いてください。
- 本機では、NP-FV30/FV50は使用できません。

バッテリーチャージャー /ACアダプターについて

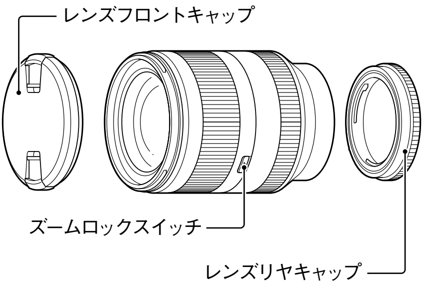
- バッテリーチャージャーやACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- バッテリーチャージャーやACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- バッテリーチャージャーやACアダプターのバッテリー端子やDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- バッテリーチャージャーでの充電が完了してCHARGEランプが消えても、電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- バッテリーは、実用充電または満充電してからお使いください。
  – 別売のバッテリーチャージャーではバッテリーの残量表示が、本機で使用する場合の残量を正しく示さないことがあります。
  – 本機で使用したバッテリーを使用可能時間表示機能のある別売のバッテリーチャージャーで充電すると、時間表示が“---”になります。

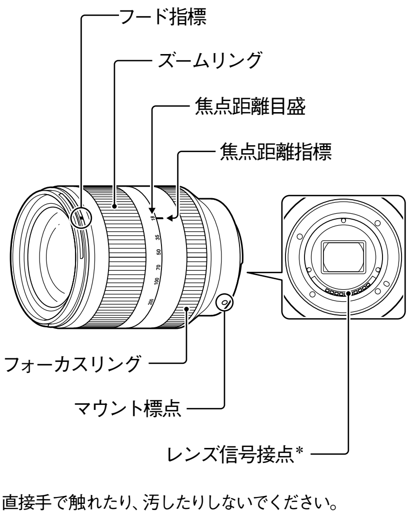
電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

レンズの装着

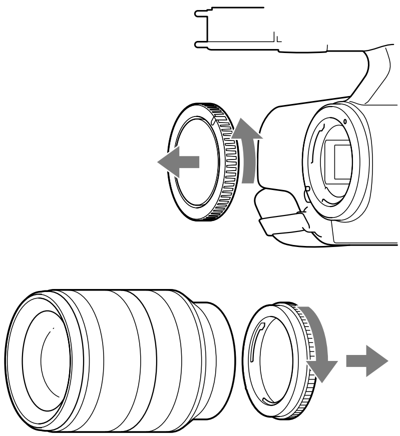
付属のE18-200mm F3.5-6.3 OSSレンズを例に、レンズの装着方法を説明します。本体内部にゴミやほこりが入らないように、マウント部を下に向けて、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。



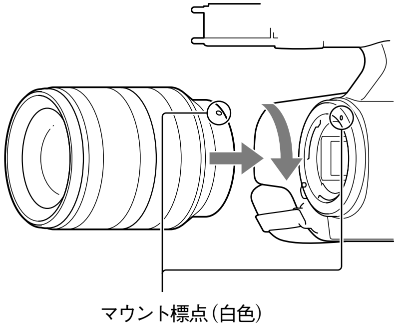


* 直接手で触れたり、汚したりしないでください。

1 本体とレンズから、キャップやカバーを外します。



2 本体とレンズのマウント標点（白色）を合わせ、レンズを軽く本体に押し付けながら、矢印の方向にゆっくり回します。
「カチッ」と音がしてロックし、装着が完了します。



次のページにつづく…▶

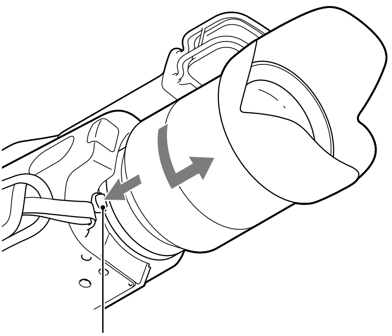
レンズの装着（つづき）

ご注意

- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないで、まっすぐに合わせてください。マウント部に強い力がかかると、故障や破損の原因となります。
- Aマウントレンズ（別売）をご使用の場合は、マウントアダプター（別売）が必要です。詳しくは、マウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。

取り外し

1 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して、取り外します。
レンズと本体の両方を持って取り外してください。



レンズ取り外しボタン

2 本体とレンズにキャップを取り付けます。
キャップのほこりを落としてから取り付けてください。

ご注意

- レンズ交換の際に、本体内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー表面に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。本体はアンチダスト機能によりゴミやほこりが付きにくくなっていますが、レンズの取り付け/取り外しを行う際には、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。
- レンズやレンズキャップを外した状態のまま、本機を放置しないでください。

イメージセンサーにゴミやほこりが付着したら

[セットアップ]メニューの[クリーニングモード]で、イメージセンサーを掃除してください。[クリーニングモード]の実行後、本機の電源を切り、レンズを外して、別売のブロアーでイメージセンサー表面とその周辺のほこりを吹き飛ばし、レンズを取り付けてください。

ご注意

- バッテリー残量が（残量が3個）以上でないと、クリーニングモードは起動しません。クリーニング時は、ACアダプターの使用をおすすめします。
- スプレー式のブロアーは、水滴が本体内部に飛び散るので使用しないでください。
- ブロアーの先端がイメージセンサーに当らないように、マウントより中に入れないでください。
- ほこりが落ちやすいよう、本体をやや下向きにしてください。
- クリーニング中に本体に衝撃を与えないでください。
- この手順でクリーニングを行ってもほこりが取れない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

Aマウントレンズについて

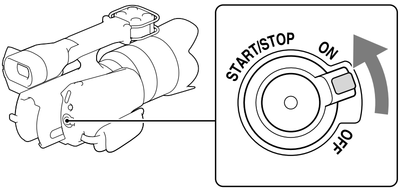
お使いいただけないレンズもあります。レンズの互換性は、専用サポートサイトでご確認ください。

http://www.sony.co.jp/cam/support/

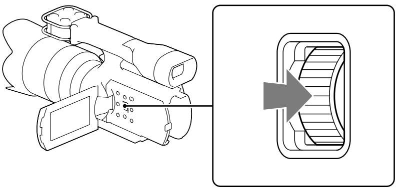
本機の起動と日時合わせ

初めて電源を入れると、日付、時刻の設定画面が表示されます。

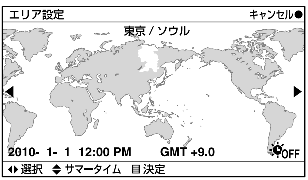
1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。
電源が入り、本機の液晶画面に日時合わせ画面が出ます。



2 コントロールダイヤルを押して[実行]します。

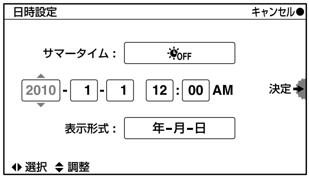


3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、コントロールダイヤルを押します。



4 ◀/▶ボタンで設定する項目を選びます。

5 コントロールダイヤルを回して数値を選びます。
▲/▼ボタンで選ぶこともできます。



サマータイム：日本では、サマータイムは[切]にします。
表示形式：日付表示順を選びます。
真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

6 手順4と5を繰り返して、すべての項目を設定し、コントロールダイヤルを押して決定します。

電源を切る

電源スイッチを「OFF」にします。

日時合わせをやり直す/現在の時刻設定を確認する

MENUボタンを押して、[セットアップ]の[日時設定]を選びます。

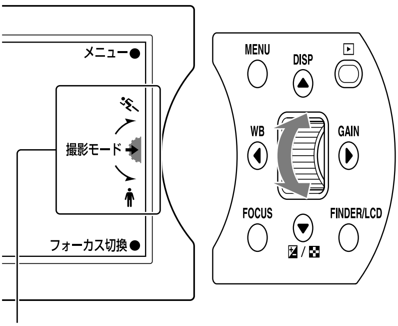
次のページにつづく…▶

本機の起動と日時合わせ（つづき）

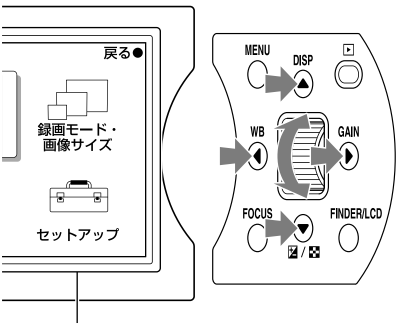
操作ボタンの使いかた

画面表示に従ってコントロールダイヤルを回したり、▲/▼/◀/▶ボタンを押したりすると、項目や設定を選ぶことができます。選んだ項目や設定は、コントロールダイヤルを押すと決定されます。

また、▲/▼/◀/▶ボタンには撮影や再生時によく使う機能も割り当てられています（26ページ）。



曲線矢印は、コントロールダイヤルを回すことを示しています。

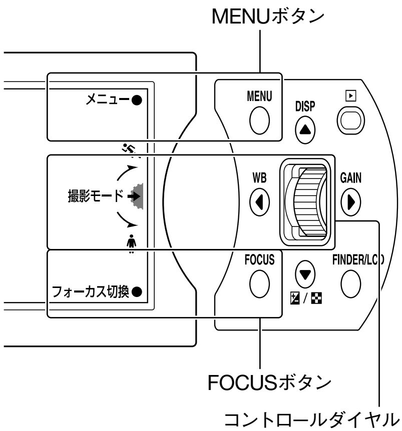


画面上に選択項目が出ている場合は、コントロールダイヤルを回したり、▲/▼/◀/▶ボタンを押したりして項目を移動できます。
コントロールダイヤルを押して決定します。

MENUボタン、FOCUSボタン、コントロールダイヤルは、画面表示によって、機能が変わります。何の機能が割り当てられているかは、それぞれ画面に表示されます。

画面右上に表示される機能を使うときはMENUボタンを、中央の機能を使うときはコントロールダイヤルを、画面右下に表示される機能を使うときはFOCUSボタンを押します。

本書では、画面に表示されているアイコンまたは機能名称で各ボタンを表現しています。

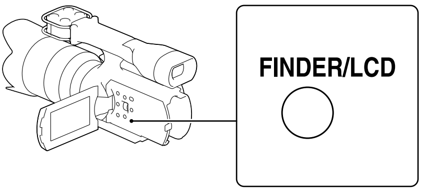


この場合、MENUボタンは［メニュー］ボタン、コントロールダイヤルは［撮影モード］ボタン、FOCUSボタンは［フォーカス切換］ボタンになります。

ファインダーと液晶画面の調節

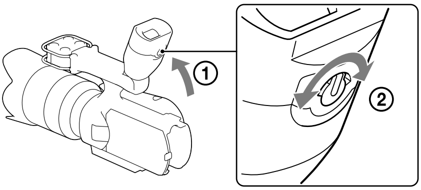
画像はファインダーまたは液晶画面に表示されます。

FINDER/LCDボタンを押して、画像の表示先をファインダーまたは液晶画面に切り換えます。



ファインダー

見やすい角度にして（①）、視度調整つまみで画像がはっきり見えるように調節します（②）。



ご注意

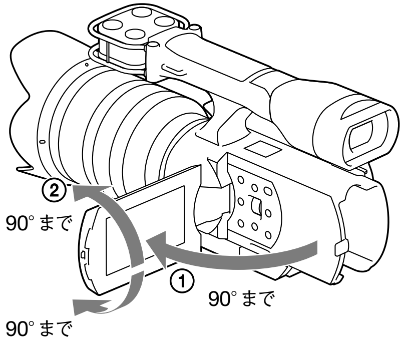
- ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

ちょっと一言

- ファインダーの明るさは、メニューの［ファインダー明るさ］で設定できます。

液晶画面

液晶画面を開き（①）、見やすい角度に調節します（②）。



ご注意

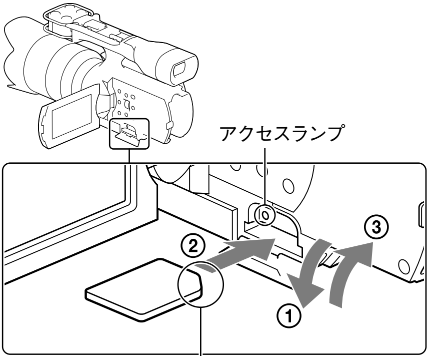
- 液晶画面は上下90° までしか回転しません。無理に回転させようとすると、破損するおそれがあります。

ちょっと一言

- 液晶画面の明るさは、メニューの［モニター明るさ］で設定できます。

メモリーカードの挿入

カバーを開きます(①)。メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして、「カチッ」というまで押し込み(②)、カバーを閉じます(③)。



新しいメモリーカードを入れたときは

[管理ファイルがありません 新規作成しますか?]と表示されることがあります。その場合は、コントロールダイヤルを押して実行してください。

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。故障の原因になります。

ちょっと一言

- 撮影可能時間は39ページをご覧ください。

メモリーカードを取り出す

カバーを開きます。アクセスランプが点灯/点滅していないことを確認し、メモリーカードを1回押します。

ご注意

- 撮影中にカバーを開けないでください。
- 出し入れ時にメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

本機で使えるメモリーカード

- 本機で使用できるメモリーカードは下記のとおりです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
  - “メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)
  - “メモリースティック PRO-HG デュオ”
  - SDカード(Class 4以上)
  - SDHCカード(Class 4以上)
  - SDXCカード(Class 4以上)
- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は32GB, SDカードは64GBまでです。
- 使用可能なメモリーカードの最新情報についてはホームページをご確認ください(63ページ)。
- 本書では、“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)、“メモリースティック PRO-HG デュオ”を「“メモリースティック PRO デュオ”」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード を「SDカード」と表現しています。

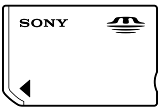
ご注意

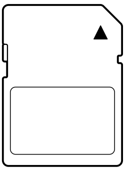
- マルチメディアカードは使用できません。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込みや再生をすることはできません。接続する機器がexFATに対応しているか、あらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、初期化画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容がすべて失われます。

  * exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

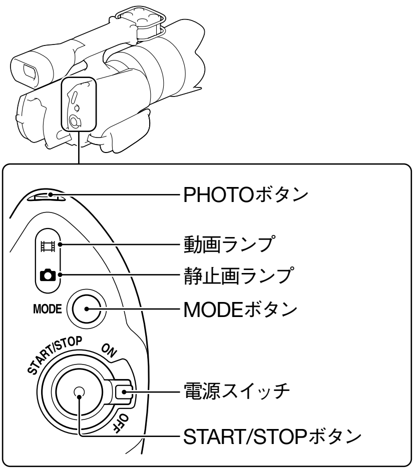
本機で使えるメモリーカードのサイズ

標準の"メモリースティック"の約半分の大きさの"メモリースティック PRO デュオ"、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。





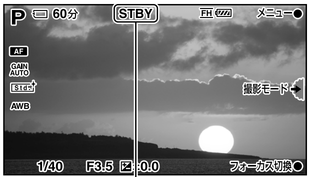
撮影



動画

1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「ON」にして、電源を入れます。

2 START/STOPボタンを押します。



［STBY］→［REC］

撮影を止めるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 撮影終了後、次の状態のときは撮影したデータをメモリーカードに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。
  - ー アクセスランプが点灯中、または点滅中
  - ー 画面に記録中の表示が出ているとき
- 本機には、電動ズーム機能はありません。
- 手持ちで撮影するときは、左手をレンズに添えて撮影してください。また、マイクに指が当たらないようにしてください。

ちょっと一言

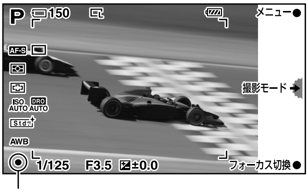
- 動画記録中にレンズやカメラの動作音が気になる場合は、音声を記録しないようにすることもできます。その場合は、MENUボタン→［セットアップ］→［動画音声記録］→［切］にします。
- MENUボタン→［録画モード・画像サイズ］→［録画モード］で撮影できる動画の画質を変更できます。

静止画

1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「ON」にして、電源を入れます。

2 MODEボタンを押して、📷(静止画)ランプを点灯させます。

3 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、深く押します。



フォーカス表示

フォーカス表示について

点灯/点滅や形でピント合わせの状況を表示します。

●点灯: ピントが合って固定されています。

((●)): ピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変わります。

( ): ピント合わせの途中です。

●点滅: ピントが合っていません。自動でピントを合わせられないので、構図やフォーカス設定などを変えてください。

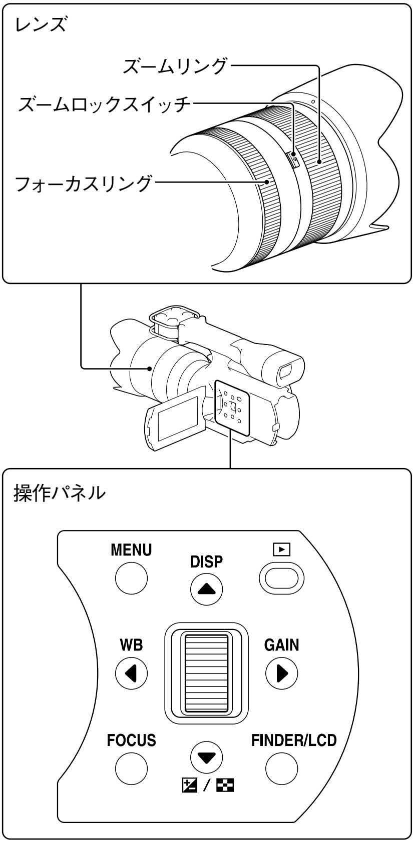
ご注意

- 動画撮影モード時に、静止画を撮ることはできません。
- 本機は、デジタル一眼カメラで可能な縦位置撮影には対応していません。
- 以下のときは、ピントが合いにくい場合があります。
  - 被写体が遠くて暗い
  - 被写体と背景のコントラストが弱い
  - ガラス越しの被写体
  - 高速で移動する被写体
  - 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
  - 点滅する被写体
  - 逆光になっている被写体

ちょっと一言

- MENUボタン→[録画モード・画像サイズ]→[画像サイズ]で撮影できる静止画の画像サイズを変更できます。

撮影機能の紹介



レンズで行う調節

装着しているレンズによってできることや操作方法が異なります。付属のレンズでは以下ができます。

ズームリング

ズームリングを左右に回して、被写体の大きさを決めます。ズームはフォーカス調整前に行います。

ご注意

- ズームにより繰り出されたレンズ部分を掴んだり、強い力を加えないでください。レンズが破損することがあります。

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時に、フォーカスリングを左右に回してピントを合わせ、被写体がもっともはっきり見えるようにします。

ズームロックスイッチ

携帯時など、レンズの自重による鏡筒の伸長を防ぎます。レンズをW端に戻してから、スイッチを▼方向にスライドさせロックします。解除するには、スイッチを元の位置に戻します。

操作パネルで行う設定

メニューで多彩な機能を設定できます。使用頻度が高いと思われる機能はボタンに割り当てられています。

MENU

メニューを表示します。本機全体に関する設定の変更や、いろいろな機能の実行などを行います。メニュー一覧は48ページをご覧ください。

DISP

撮影時や再生時に、画面に表示される内容を切り換えます。
撮影時
（基本情報表示/ヒストグラム/情報表示なし）
再生時
（基本情報表示/詳細情報表示/情報表示なし）

WB

撮影場所の光源に合わせて、設定されている画像の色あい（ホワイトバランス）を選びます。自分で色あいを設定することもできます。
（オートホワイトバランス/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯/フラッシュ/色温度・カラーフィルター/カスタム/カスタムセット）

GAIN

動画モード時：ゲインの設定
暗い場所で撮影する場合には、ゲインを上げます。また、［オート］によるゲインアップを行いたくないときなどにも使います。
（オート/0dB ～27dB）
［オート］時は、0dB ～21dBの値で自動設定されます。

静止画モード時：ISO感度の設定
静止画の明るさの感度を設定します。
（ISO AUTO/200 ～12800）
［ISO AUTO］時は、ISO 200 ～ISO 1600の値で自動設定されます。

画像全体の明るさ（露出）を調整します。
（－2.0EV ～＋2.0EV）

再生時に、画像を一覧表示します。

FOCUS

フォーカスモードを切り換えます。（オートフォーカス/DMF*/マニュアルフォーカス）

FINDER/LCD

画像の表示先を切り換えます。
（ファインダー/液晶画面）

再生します。

* 静止画のみ

露出モード

シャッタースピードと、絞り（ピントの合う範囲＝被写界深度）を調節することで、映像表現の幅が広がります。

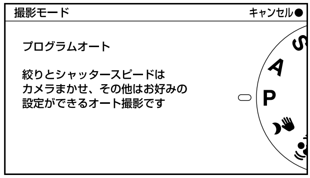
シャッタースピードと絞りの設定は、動きやピントによる映像表現を作り出すと同時に、撮影に最も大切な露光量（イメージセンサーに取り込まれる光の量）を調節し、画像の明るさを設定します。

露光量による画像の明るさの変化



例えば、シャッタースピードを速くしたときは、シャッターが開いている時間が短い＝光を取り込む時間が短くなるため、画像が暗くなります。画像を明るくするためには、その分だけ絞り（光が通る穴）を開き、一度に取り込まれる光の量を増やす必要があります。
このように、シャッタースピードと絞りで調節する画像の明るさを「露出」といいます。
本機には、［プログラムオート］［絞り優先］［シャッタースピード優先］［マニュアル露出］の４モードがあり、以下のように選びます。

1 コントロールダイヤルを押します。



2 コントロールダイヤルを回して使うモードを選び、コントロールダイヤルを押します。

プログラムオート（P）
絞りとシャッタースピードは自動で、ゲイン/ISO感度、クリエイティブスタイル、ホワイトバランスなどを好みの設定に変更できます。

絞り優先（A）
絞りを自由に変えられるモードです。コントロールダイヤルを回すことで値を変えられます。シャッタースピードは自動で調節されます。

- 絞りを開けると、被写体だけをくっきりとさせて、前後をぼかせます。絞りを開けるほど、ピントの合う範囲が狭くなります（被写界深度が浅くなります）。
- 絞り込むと、風景の奥行きを表現できます。絞り込むほど、ピントの合う範囲が前後に広がります（被写界深度が深くなります）。

シャッタースピード優先（S）

シャッタースピードを自由に変えられるモードです。コントロールダイヤルを回すことで値を変えられます。絞りは自動で調節されます。

- 一瞬を静止させたように撮ります。シャッタースピードが速いほど、一瞬の動きを捉えられます。
- 動きの軌跡を写し、躍動感や流動感を表現できます。シャッター速度が遅いほど、軌跡が写せます。

マニュアル露出（M）

絞り値とシャッタースピードの両方を調節して、好みの露出で撮影できます。▼ボタンを押すことで、調節する項目を切り換えられます。コントロールダイヤルを回して、設定します。

手動設定と露出モードの排他関係
（Eマウントレンズ使用時）

手動設定	露出モード			
	A	S	M	P
絞り	○	–	○	–
シャッタースピード	–	○	○	–
ゲイン/ISO感度	○	○	○	○
露出補正	○	○	／	○

○：スタンバイ/録画中に操作可能
ー：手動設定不可（自動設定）

Aマウントレンズについて

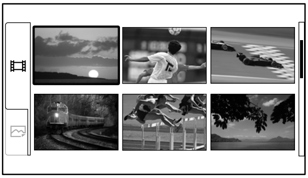
お使いいただけないレンズもあります。レンズの互換性は専用サポートサイトでご確認ください。

http://www.sony.co.jp/cam/support/

再生

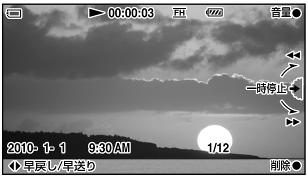
動画撮影モードからの再生

1 ▶（再生）ボタンを押します。
インデックス画面が表示されます。



静止画を見るときは、◀/▼ボタンで（静止画）を選んで、コントロールダイヤルを押します。

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで再生したい画像を選び、コントロールダイヤルを押します。

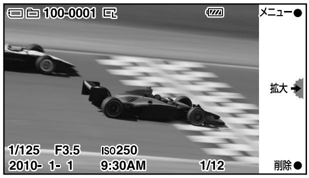


動画再生中にできること

一時停止	コントロールダイヤルを押す。
早送り	▶を押す、またはコントロールダイヤルを下に回す。
早戻し	◀を押す、またはコントロールダイヤルを上に回す。
正方向スロー再生	一時停止中にコントロールダイヤルを下に回す。
逆方向スロー再生	一時停止中にコントロールダイヤルを上に回す。
音量	MENUボタンを押し、▲/▼で調節する。
終了	▶（再生）ボタンを押す。

静止画撮影モードからの再生

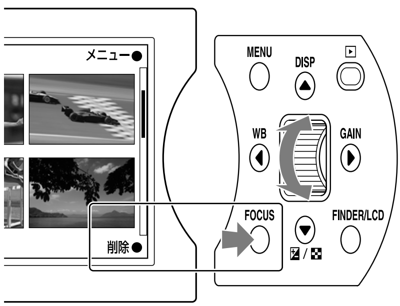
1 ▶（再生）ボタンを押します。
1枚表示画面が表示されます。



2 ◀/▶で再生したい画像を選びます。
コントロールダイヤルを押すと、拡大表示できます。
また、▼（/）ボタンを押すと、一覧表示ができます。

画像の削除

削除したい画像を選び、FOCUSボタンを押し、コントロールダイヤルを押します。



ちょっと一言

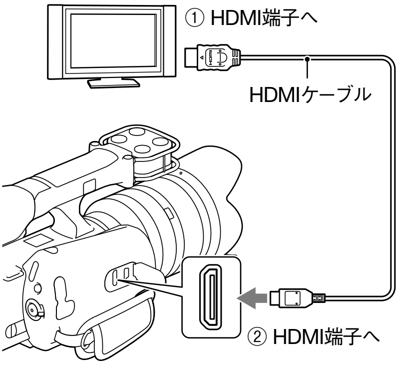
- MENUボタン→[再生]→[削除]→[動画選択]/[静止画選択]で画像を選択して削除できます。

テレビで見る

本機の画像をテレビで見るには、HDMIケーブル(別売)とHDMI端子のあるハイビジョンテレビが必要です。
テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切ります。

2 本機とテレビをHDMIケーブル(別売)で接続します。



3 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます。

4 本機の電源を入れて、▶(再生)ボタンを押します。
撮影した画像がテレビに表示されます。
▲/▼/◀/▶ボタンとコントロールダイヤルで画像を選びます。

ご注意

- 本機側はHDMIミニコネクタ、テレビ側はテレビの端子にあったタイプのHDMIケーブルをお使いください。
- HDMI出力中は、本機の液晶画面とファインダーに画像は表示されません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因になります。
- 本機からテレビに出力できる端子はHDMI端子のみです。
- 本機は、ブラビアリンクに非対応です。

ブラビア プレミアムフォトについて

本機は"ブラビア プレミアムフォト"に対応しています。
"ブラビア プレミアムフォト"に対応したソニー製テレビにHDMIケーブル(別売)で接続すると、テレビが静止画に適した画質に自動的に設定されます。写真を今までになかった感動のFull HD高画質で快適にお楽しみいただけます。詳しくは、対応テレビの取扱説明書をご覧ください。

- "ブラビア プレミアムフォト"とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。

撮影と再生

付属ソフトウェアでできること

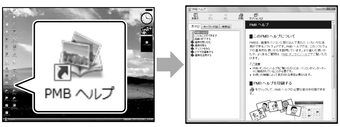
CD-ROM（付属）に収録されたソフトウェアを使って以下のことができます。

「PMB」（Picture Motion Browser）（Windowsのみに対応）

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示する。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧する。

「PMB」の使いかたを見るには

インストール後にデスクトップ上の「PMBヘルプ」アイコンをクリックします。または、スタートメニューから[スタート]→[すべてのプログラム]→[PMB]→[PMBヘルプ]をクリックします。



「PMB」を使ってできることを、カラー写真やイラスト付きで分かりやすく説明しています。また、キーワード検索などもできます。
詳しくはPMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）をご覧ください。

パソコンの準備

パソコン環境の確認

付属ソフトウェアを使うには

下記の推奨環境が必要です。

OS	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/ Windows 7
CPU	Intel Core Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上（FX 24M/FH 17Mの動画を扱うときは、Intel Core 2 Duo 2.26 GHz以上） ただし、以下の場合については、Pentium Ⅲ 1 GHz以上での動作が可能です。 – 動画・静止画のパソコンへの取り込み – ブルーレイディスク・AVCHDディスクの作成 – ディスクのコピー
ソフトウェア	DirectX 9.0c以降（DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用になるにはDirectXがインストールされている必要があります。）
メモリー	Windows XP：512 MB以上（1 GB以上を推奨） Windows Vista/ Windows 7：1 GB以上

ハードディスク容量	インストールに必要なディスク容量：約500 MB（AVCHDディスクを作成する場合は、10 GB以上必要になる場合もあります。ブルーレイディスク作成時は、最大でおよそ50 GB必要になります。）
ディスプレイ	1024×768ドット以上
その他	USB端子標準装備（Hi-Speed USB（USB 2.0準拠））、ブルーレイディスク／DVD作成が可能なディスクドライブ（インストールにはCD-ROMドライブが必要） ハードディスクのファイルシステムは、NTFSまたはexFATを推奨します。

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0以上が必要です。

- OSは工場出荷時にインストールされていることが必要です。

ご注意

- パソコンから本機に挿入中のメモリーカードをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、「PMB」を使用して作成したAVCHDディスクを入れないでください。
- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。

Macintoshをお使いのときは

付属のソフトウェア「PMB」はMacintoshに対応していません。画像を取り込む方法などについては、63ページの"ハンディカム"のサポート情報をご覧ください。

「PMB」のインストール

- Administrator権限・コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

1 パソコンに本機をつないでいないことを確認します。

2 パソコンの電源を入れます。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットします。
インストール画面が表示されます。
インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ]（Windows XPの場合は[マイコンピュータ]）をクリックし、[SONYPMB（E:)]（CD-ROM）*をダブルクリックします。

* ドライブ文字（(E:)など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [インストール]をクリックします。

5 国または地域を選びます。

6 [日本語]を選び、[次へ]をクリックします。

7 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は ◯ を ◉ に変え、[次へ]→[インストール]をクリックします。

8 本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぎます。

- 本機とパソコンをつないでいるとき、本機の液晶画面およびファインダーに何も表示されませんが、故障ではありません。

次のページにつづく…▶

9　本機の ▶（再生）ボタンを押します。

10　パソコンで[続行]をクリックします。

11　パソコンの画面に従ってインストールします。
- 他のソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、下記のソフトウェアがインストールされ、デスクトップにショートカットが表示されます。
「PMB」
「PMBランチャー」
「PMBヘルプ」
- 上記以外のアイコンが表示されることがあります。
- インストール方法によって、アイコンが表示されないことがあります。

ご注意
- Windows XPでディスク作成などの機能を使用するにはWindows XP用Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0のインストールが必要です。インストールされていない場合は、インストール画面の必要なソフトウェアから、表示される手順に従ってインストールしてください。また、該当機能の起動時にメッセージが表示されますので、それに従ってインストールすることも可能です。インストールには、お使いのパソコンをインターネットに接続する必要があります。
- パソコンからのアクセスは、付属の「PMB」を使ってください。パソコンから直接本機のファイルやフォルダーを操作した場合、画像ファイルが壊れたり、再生できなくなったりすることがあります。
- 長時間撮影した画像や編集した画像を取り込む場合は、付属の「PMB」を使ってください。それ以外のソフトを使うと正しく取り込めない場合があります。
- パソコンから本機の記録メディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、30ページの手順または、メニューの[削除]から行ってください。パソコンから本機の記録メディア内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機の記録メディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。

本機とパソコンの接続を終了するには

1　パソコンのデスクトップ右下で、アイコン→[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックします。

2　USBケーブルを取り外します。

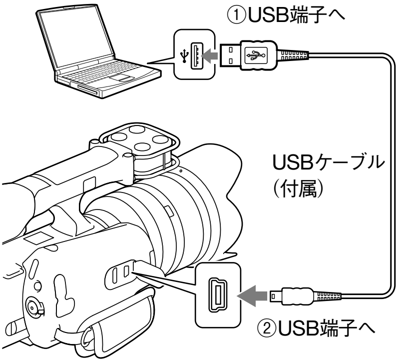
パソコンに画像を取り込む

本機で撮影した動画、静止画をパソコンに取り込みます。パソコンの電源は入れておきます。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（15ページ）。

1 本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぎます。



- 本機とパソコンをつないでいるとき、本機の液晶画面およびファインダーに何も表示されませんが、故障ではありません。

2 本機で ▶（再生）ボタンを押します。
パソコンの画面に取り込み画面が表示されます。

3 ［取り込み開始］をクリックします。
取り込みが始まります。
取り込みが完了すると、「PMB」画面が表示されます。
詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

ちょっと一言

- パソコンに取り込んだハイビジョン画質（HD）の動画はパソコンから本機のメモリーカードに書き戻せます。詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

① 36 ～ 38ページの項目をチェックする。
また、[“ハンディカム”ハンドブック]も参照し、本機を点検する。

② バッテリーを取り外し、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

③ 設定リセットをする（52ページ）。

④ “ハンディカム”ホームページなどで確認する。
http://www.sony.co.jp/cam/support/

⑤ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを取り付けられない。

- NP-FV30/FV50は使用できません。

バッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（14ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

電源が入らない。

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください（14ページ）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（14ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。
- ACアダプターをコンセントに差し込んでください（15ページ）。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が5分以上続くと、省電力状態（パワーセーブ）になります。液晶パネルを開閉するなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

付属のバッテリーチャージャーでのバッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、CHARGEランプが点滅することがまれにあります。
- 速い点滅のとき（0.15秒）
バッテリーを一度取り外して、もう一度取り付けてください。再度速く点滅したらバッテリーの異常が考えられます。
- 遅い点滅のとき（1.5秒）
温度が充電に適していません。10℃～30℃の環境で充電してください。

撮影

電源を入れてもファインダー/液晶画面に画像が表示されない。

- 操作しない状態が5分以上続くと、省電力状態(パワーセーブ)になります。液晶パネルを開閉するなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。
- ファインダーと液晶画面の両方同時に画像を表示することはできません。FINDER/LCDボタンで表示先を切り換えてください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- MODEボタンを押して、撮影したいモードのランプを点灯させてください(24ページ)。
- 直前に撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいます。書き込んでいる間は、次の撮影はできません。
- メモリーカードの空き容量がありません。不要な動画、静止画を削除してください(30ページ)。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えています。不要な動画、静止画を削除してください(30ページ)。
- レンズが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください(17ページ)。

撮影に時間がかかる。

- ノイズ軽減処理機能が働いています。故障ではありません。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎます。レンズの最短撮影距離を確認してください。
- マニュアルフォーカスになっています。FOCUSボタンを押して、オートフォーカスにしてください。
- 光量が不足しています。
- オートフォーカスの苦手な被写体を撮ろうとしています。マニュアルフォーカス撮影を行ってください。

正しい撮影日時が記録されない。

- 日付・時刻を合わせてください(19ページ)。
- エリア設定で現在地と異なる場所が設定されています。MENUボタン→[セットアップ]→[エリア設定]で設定し直してください。

PHOTOボタンを半押しすると絞り値、シャッタースピードが点滅する。

- 被写体が明るすぎる、または暗すぎるため、本機の調整範囲を超えています。設定し直してください。

画像が白っぽくなる(フレア)。光のにじみが現れる(ゴースト)。

- 逆光で撮影したため、レンズに余分な光が入っています。ズームレンズ使用時はレンズフードを取り付けてください。

画像の隅が暗くなる。

- フィルターやフードを取り外してください。フィルターの厚みやフードの不適切な取り付けにより、画像にフィルターやフードが写り込むことがあります。また、レンズの光学的な特性により、画像周辺部が暗く写る場合(光量低下)があります。

次のページにつづく…▶

故障かな？と思ったら（つづき）

液晶画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません（6ページ）。

液晶画面の露出補正値が点滅する。

- 被写体が明る過ぎる、または暗過ぎて、本機の測光範囲を超えています。

再生

再生できない。

- パソコンでフォルダー/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください（34ページ）。

パソコン

対応しているOSがわからない。

- 「パソコンの推奨環境」を確認してください（32ページ）。

本機がパソコンに認識されない。

- 本機の電源が入っているか確認してください。
- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付けてください、またはACアダプターを使用してください。
- 接続には、付属のUSBケーブルをお使いください。
- 一度パソコンと本機からUSBケーブルを抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取り外してください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください。

その他

撮影中に、「データ修復中　しばらくおまちください」とメッセージが表示され、撮影が止まる。

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われています。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直してください（52ページ）。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録速度に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください（22ページ）。

本機の液晶画面およびファインダーに何も表示されない。

- 本機をパソコンや他機器とUSBケーブルで接続しているときは、本機の液晶画面およびファインダーには何も表示されませんが、故障ではありません。接続を解除すると、画面が表示されます。

記録時間/枚数

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時	再生時
NP-FV70（付属）	145	90	295
NP-FV100	315	195	625

- それぞれの時間は、録画モード［FH 17M］によるものです。
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、MODEランプの切り換えなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10℃～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

動画の撮影可能時間の目安

（単位：分）

録画モード	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
FX	10 (10)	20 (20)	40 (40)	90 (90)	180 (180)
FH	10 (10)	25 (25)	55 (55)	115 (115)	235 (235)
HQ	25 (20)	55 (40)	115 (80)	235 (170)	470 (340)

ご注意

- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態によっても変わります。
- （ ）内は最低記録時間です。

ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、最大3,999個です。
- 動画の最大撮影可能時間は約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。

静止画の撮影可能枚数の目安

（単位：枚）

画像サイズ	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
L: 14M	300	610	1250	2550	5000

- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶画面上でご確認ください（56ページ）。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

ちょっと一言

- 各録画モードのビットレート（動画+音声など）、画素数およびアスペクト比は、次のとおりです。
  FX:最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9
  FH:約17Mbps（平均） 1,920×1,080画素/16:9
  HQ:約9Mbps（平均） 1,440×1,080画素/16:9
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
  4,592×3,056ドット/3:2
  4,592×2,576ドット/16:9
  3,344×2,224ドット/3:2
  3,344×1,872ドット/16:9
  2,288×1,520ドット/3:2
  2,288×1,280ドット/16:9

使用上のご注意

液晶画面について

- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。また、初めは画面が通常よりも少し暗くなります。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内、熱器具の近くは特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TVやラジオ、チューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽を向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

長期間使用しないときは

- 使用しないときは、必ずレンズキャップを付けてください。
- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～ 40℃です。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機で記録した動画は次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格非対応の機器
- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

- 結露が起きたときは
  電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。
- 結露が起こりやすいのは
  次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
  – スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
  – 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
  – スコールや夏の夕立の後
  – 温泉など高温多湿の場所
- 結露を起こりにくくするために
  本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

画像が正しく記録・再生されないとき

長期間、画像の撮影や消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、［フォーマット］（52ページ）を行ってください。

パソコンやアクセサリーなどとの接続について

- パソコンから本機に挿入中のメモリーカードをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

別売のアクセサリーについて

- ソニー純正アクセサリーの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されないものもあります。

液晶画面のお手入れについて

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  – シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  – 上記が手に付いたまま本機を扱う
  – ゴムやビニール製品との長時間接触

次のページにつづく⋯▶

使用上のご注意（つづき）

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するために充電式バックアップ電池を内蔵しています。充電式バックアップ電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し3か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式バックアップ電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。ソニーの相談窓口にお問い合わせください（63ページ）。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを取り付けるか、ACアダプターを使ってコンセントにつないで、本機の電源を切ったまま24時間以上放置してください。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による［フォーマット］や［削除］では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

本書について

- 画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

主な仕様

本体

[形式]

カメラタイプ
　レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダー

使用レンズ
　Eマウントレンズ

[システム]

信号方式
　HDTV 1080/60i方式
　イメージセンサーでの撮像は約30コマ／秒（29.97p）です。

ビデオ記録方式
　MPEG-4 AVC/H.264 AVCHD規格準拠

音声記録方式
　Dolby Digital 2ch（48 kHz 16 bit）
　ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

静止画ファイルフォーマット
　JPEG（DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.3、MPF Baseline）準拠

記録メディア（動画・静止画）
　"メモリースティック PRO デュオ"
　SDカード（Class 4以上）

ファインダー
　電子ファインダー：カラー
　画面サイズ：1.1 cm（0.43型）
　有効画素数：1 152 000ドット
　（800 × 3[RGB] × 480相当）

映像素子
　23.4 mm × 15.6 mm（APS-Cサイズ）
　CMOSセンサー
　総画素数：約1 460万画素
　動画有効画素数：約908万画素（16:9）
　静止画有効画素数：約1 420万画素（3:2）

最低被写体照度
　11 lx（ルクス）
　（シャッタースピード（1/30）、
　ゲイン［オート］、［F3.5］）

シャッター
　形式：電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
　シャッタースピード範囲：1/4000秒～30秒（1/3段ステップ）
　静止画撮影時のみ動作

[出力端子]

HDMI OUT端子
　HDMIミニコネクタ

ヘッドホン端子
　ステレオミニジャック（Φ3.5 mm）

[入力端子]

MIC入力端子
　ステレオミニジャック（Φ3.5 mm）

[入出力端子]

USB端子
　mini-B

次のページにつづく

主な仕様（つづき）

［液晶画面］

画面サイズ

7.5 cm（3.0型、アスペクト比16:9）

総ドット数

921 600ドット（横1920 × 縦480）

［電源部、その他］

電源電圧

バッテリー端子入力　6.8 V

DC端子入力　7.6 V

消費電力

ファインダー使用時、明るさ標準　4.5W

液晶画面使用時、明るさ標準　4.5W

動作温度

0 ℃ ～ 40 ℃

保存温度

－20 ℃ ～ +60 ℃

外形寸法

（幅×高さ×奥行き、グリップベルトを除く）

85 mm × 130 mm × 223 mm

（本体のみ（レンズなし））

97 mm × 132 mm × 294 mm

（レンズ、レンズフード含む）

本体質量

約620 g（レンズなし）

撮影時総重量

約1.3 kg

（レンズ、レンズフード、"メモリースティック PRO デュオ"、付属バッテリー NP-FV70含む）

付属Eマウントレンズ E18-200mm F3.5-6.3 OSS（SEL18200）

35 mm判換算焦点距離[1)]

32.4 mm － 360 mm（16:9動画）

27 mm － 300 mm（3:2静止画）

F値

F3.5 － F6.3

手ブレ補正

光学シフト2軸リニア駆動＋ホール素子

最短撮影距離[2)]

0.30 m（W） － 0.50 m（T）

最大撮影倍率

0.35倍

最小絞り

f/22－f/40

フィルター径

67 mm

外形寸法（最大径×長さ）

約75.5 mm × 99.0 mm

質量

約524 g

1) ここでの35mm判換算焦点距離および画角とは、APS-Cサイズ相当のイメージセンサーを搭載したデジタルカメラでの値を表します。

2) 最短撮影距離とは、イメージセンサー面から被写体までの最短距離を表します。

バッテリーチャージャー BC-VH1

定格入力

AC100 V－240 V、50 Hz/60 Hz、4 W

定格出力

DC 8.4 V、0.28 A

動作温度

0 ℃ ～ 40 ℃

保存温度

－20 ℃ ～ ＋60 ℃

最大外形寸法

約60 mm × 25 mm × 95 mm
（幅×高さ×奥行き）

本体質量

約75 g

ACアダプター AC-PW10AM/ AC-PW10

定格入力

AC100 V-240 V 、50 Hz/60 Hz

定格出力

DC7.6 V[3)]

動作温度

0 ℃ ～ 40 ℃

保存温度

－20 ℃～ +60 ℃

外形寸法

約127 mm × 35 mm × 63 mm
（幅×高さ×奥行き）

質量

約300g

3) その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70

使用電池

リチウムイオン蓄電池

最大電圧

DC 8.4 V

公称電圧

DC 6.8 V

容量

公称容量 14.0 Wh（2 060 mAh）
定格（最小）容量 13 Wh（1 960 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

焦点距離について

本機での撮影画角は、35 mmフィルムカメラの画角よりも狭くなります。お手持ちのレンズの焦点距離を約1.8倍（動画撮影の場合）/約1.5倍（静止画撮影の場合）すれば、35 mmフィルムカメラとほぼ同じ画角で撮影できる焦点距離に相当する値を求めることができます。（例：焦点距離50 mmのレンズを付けると、35 mmフィルムカメラで約90 mm（動画）/約75 mm（静止画）に相当する画像が得られます。）

次のページにつづく

主な仕様（つづき）

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera Filesystem”DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK™、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick Duo”、“メモリースティックデュオ”、MEMORY STICK DUO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティックPRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“MagicGate”、“マジックゲート”および MAGICGATEはソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、DirectXは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴ、SDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- 「プレイステーション3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、「プレイステーション」は同社の登録商標または商標です。
- Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください（63ページ）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

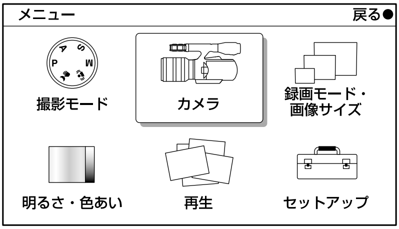
部品の交換について

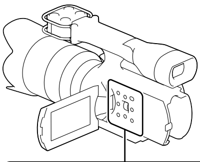
この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

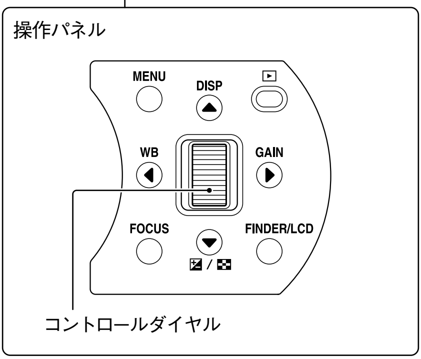
部品の保有期間について

当社はレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、付属レンズは7年間、本体は8年間保有しています。

メニュー一覧







メニューの６項目、[撮影モード]、[カメラ]、[録画モード・画像サイズ]、[明るさ・色あい]、[再生]、[セットアップ]で多彩な機能や本機の設定を実行できます。
メニューを使うには、MENUボタンを押してメニューを表示し、操作パネルのコントロールダイヤルや▲/▼/◀/▶ボタンで項目を選び、コントロールダイヤルを押して決定します。そのときに設定できない項目はグレーで表示されます。

撮影モード

被写体に合わせて撮影モードを選びます。

プログラムオート	露出（シャッタースピードと絞り）はオートで、その他の撮影機能を希望どおりに設定する。
手持ち夜景*	本機を手で持って夜景を撮影する。
人物ブレ軽減*	暗めの室内や望遠撮影時でもブレを抑えて撮影する。
マニュアル露出	絞りとシャッタースピードを調節して撮影する。
シャッタースピード優先	シャッタースピードを調節して、動くものの表現を変えて撮影する。
絞り優先	ピントの合う範囲や、背景のぼかし具合を変えて撮影する。

* 静止画のみ

カメラ

フォーカスのしかたや、連続撮影、セルフタイマーなどを設定します。

フォーカス切換	ピント合わせの方法を、自動か手動か選ぶ。（オートフォーカス/DMF*/マニュアルフォーカス）
オートフォーカスエリア*	ピント合わせの位置を選ぶ。（マルチ/中央重点/フレキシブルスポット）
オートフォーカスモード*	ピント合わせの方法を選ぶ。（シングル/コンティニュアス）
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。（アクティブ/スタンダード/切）
ドライブモード*	連写、セルフタイマー、ブラケットなどを設定する。（1枚撮影/連続撮影/セルフタイマー/連続ブラケット）
フラッシュモード*	フラッシュ（別売）の発光方式を選ぶ。（強制発光/スローシンクロ/後幕シンクロ）
画面表示切換（DISP）	撮影画面に表示する情報を切り換える。（基本情報表示/ヒストグラム表示/情報表示なし）

* 静止画のみ

次のページにつづく…▶

メニュー一覧（つづき）

録画モード・画像サイズ

動画の録画モードや、静止画の画像サイズなどを設定します。

動画

録画モード	画質を選ぶ。（FX 24M/FH 17M/HQ 9M）

静止画

画像サイズ	画像サイズを選ぶ。
横縦比	横縦の比率を選ぶ。（3:2/16:9）

明るさ・色あい

露出などの明るさに関する設定や、ホワイトバランスなどの色あいに関する設定を行います。

露出補正	画像全体の明るさを補正する。（＋2 ～－2）
ゲイン	動画の明るさに対するイメージセンサーの感度を設定する。（オート/0dB ～27dB）
ISO感度*	静止画の明るさに対するイメージセンサーの感度を設定する。（ISO AUTO/200 ～12800）
ホワイトバランス	光源に合わせて画像の色あいを選ぶ。（オートホワイトバランス/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯/フラッシュ/色温度・カラーフィルター/カスタム/カスタムセット）
クリエイティブスタイル	画像の仕上がり具合を選ぶ。（スタンダード/ビビッド/ポートレート/風景/夕景/白黒）
測光モード*	明るさを測る方法を選ぶ。（マルチ/中央重点/スポット）
調光補正*	フラッシュ（別売）の発光量を調整する。（＋2 ～－2）
DRO/オートHDR*	明るさやコントラストを自動補正する。（切/Dレンジオプティマイザー/オートHDR）

* 静止画のみ

再生

再生機能の設定をします。

削除	画像を削除する。（動画選択／静止画選択）
動画／静止画 切換	動画／静止画の再生画面を切り換える。
一覧表示	一覧表示する枚数を選ぶ。（6枚／12枚）
プロテクト	画像の保護、解除の設定をする。（動画選択／動画全て解除／静止画選択／静止画全て解除）
静止画スライドショー*	静止画を自動再生する。（リピート／間隔設定）
⊕静止画拡大*	静止画を拡大する。
画面表示切換（DISP）	再生画面に表示する情報を切り換える。（基本情報表示／詳細情報表示／情報表示なし）

* 静止画のみ

セットアップ

撮影に関する詳細な設定や、本機全体に関する設定を行います。

撮影設定

動画音声記録	動画撮影時に音声を記録するかを設定する。（入／切）
グリッドライン	構図合わせのための補助線（グリッドライン）を表示する。（入／切）
レンズなし時の撮影	レンズが装着されていない状態で撮影できるかどうか設定する。（許可／禁止）
赤目軽減発光*	フラッシュ（別売）撮影時に目が赤く写るのを防ぐ。（入／切）
オートレビュー*	撮影直後、撮った画像を表示するかを設定する。（2秒／切）

* 静止画のみ

次のページにつづく…▶

メニュー一覧（つづき）

本体設定

音量設定	動画の音量を設定する。
操作音	操作時の音を設定する。（入/切）
日時設定	日時を設定する。（年－月－日/表示形式/サマータイム）
エリア設定	本機を使うエリアを選ぶ。
パワーセーブ	省電力モードにする。（5分/切）
モニター明るさ	液晶画面の明るさを調節する。（－2 ～ ＋2）
ファインダー明るさ	ファインダーの明るさを調節する。（－1 ～ +1）
クリーニングモード	イメージセンサーをクリーニングする。
バージョン表示	本機とレンズのバージョンを表示する。
デモモード	動画をデモンストレーションとして表示するかを設定する。（入/切）
設定値リセット	お買い上げ時の設定に戻す。

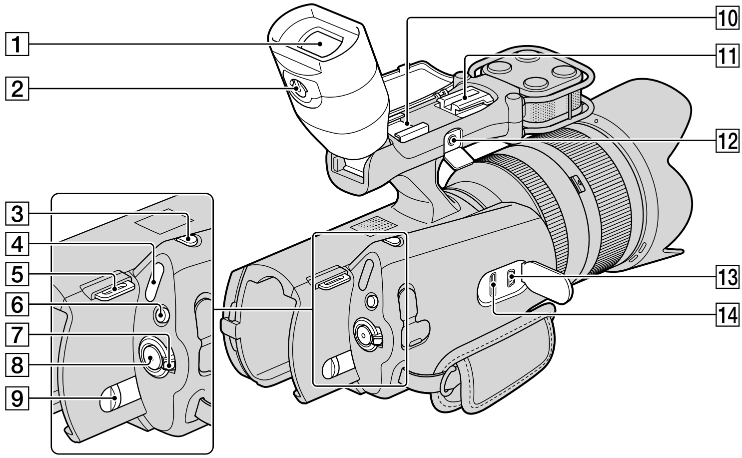
メモリーカードツール

フォーマット	メモリーカードを初期化する。
管理ファイル修復	動画を管理するファイルに異常が発生したときに修復する。
ファイル番号*	ファイル番号の付けかたを設定する。（連番/リセット）

* 静止画のみ

各部の名称

(　)の数字は、参照ページです。



1 ファインダー(21)

2 視度調節つまみ(21)

3 PHOTOボタン(25)

4 (動画)/(静止画)ランプ(24)

5 ショルダーストラップ取り付け部(54)

6 MODEボタン(25)

7 ON/OFF(電源)スイッチ(19)

8 START/STOPボタン(24)

9 BATT(バッテリー取り外し)レバー(15)

10 アクセサリーシュー
ガンマイクロホン(別売)などを取り付けます。
アクセサリーシューとオートロックアクセサリーシューの両方同時にアクセサリーを取り付けると、アクセサリー同士が接触して損傷するおそれがありますのでご注意ください。

11 オートロックアクセサリーシュー
ソニー純正の外付けフラッシュ(別売)などを取り付けます。
[人物ブレ軽減]、[手持ち夜景]、[連続撮影]、[連続ブラケット]設定時はフラッシュ発光はしません。また、その他にも一部お使いいただけないフラッシュや、動作しない機能があります。フラッシュの互換性については、下記でご確認ください。
http://www.sony.co.jp/cam/support/

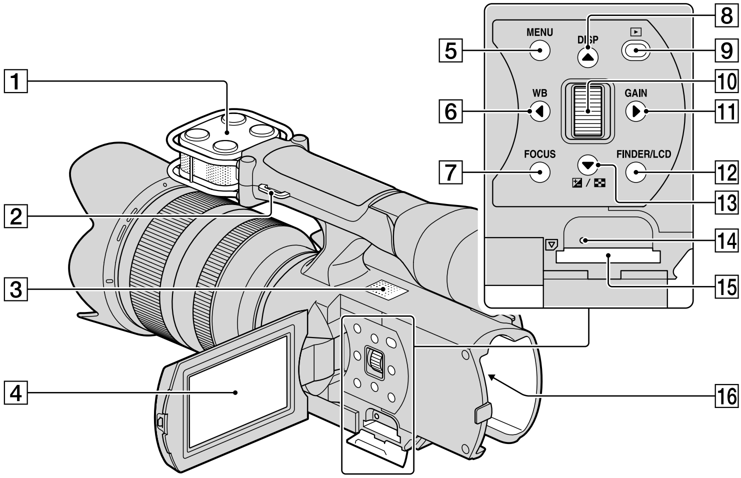
12 MIC(外部マイク)端子
外部マイク(別売)をつなぐと、その音声が本機のマイクよりも優先されます。

13 (USB)端子(35)

14 HDMI端子(31)
HDMI出力中は、本機の液晶画面とファインダーに画像は表示されません。

次のページにつづく…

各部の名称（つづき）



1 マイク（13）

2 ショルダーストラップ取り付け部

3 スピーカー

4 液晶画面（21）

5 MENUボタン（27、48）

6 WB/◀ボタン（27、48）

7 FOCUSボタン（27）

8 DISP/▲ボタン（27、48）

9 ▶（再生）ボタン（30）

10 コントロールダイヤル（28、48）

11 GAIN/▶ボタン（27、48）

12 FINDER/LCDボタン（21）

13 ◪（露出補正）/▦（一覧表示）/▼ボタン（27、48）

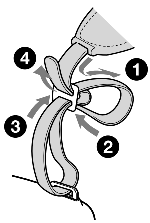
14 アクセスランプ（22）

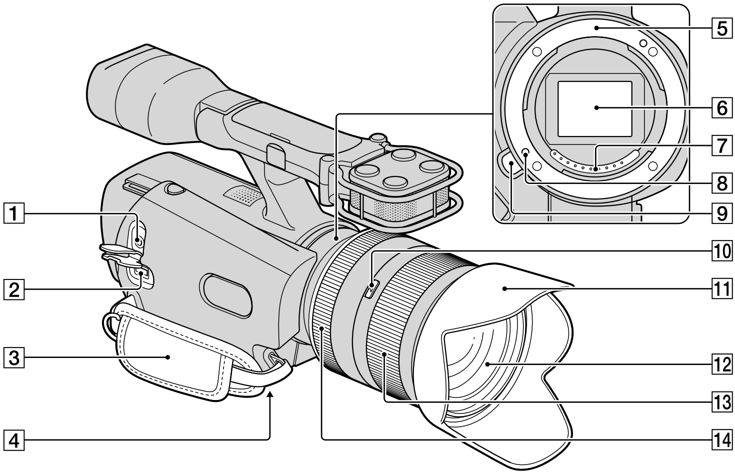
15 メモリーカードスロット（22）

16 バッテリー取り付け部（14）

ショルダーストラップ（別売）を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。





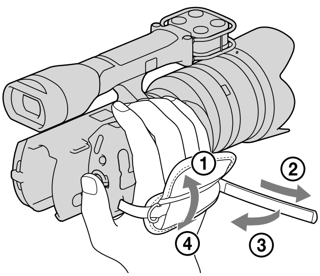
1 ∩（ヘッドホン）端子

ステレオミニジャックのヘッドホンをお使いください。

2 DC IN端子（15）

3 グリップベルト

以下のように締めてください。



4 三脚ネジ穴

三脚（別売、ネジの長さが5.5 mm以下）を取り付けます。

5 マウント（17）

6 イメージセンサー

7 レンズ信号接点

直接手で触れたり、汚したりしないでください。

8 レンズロックピン

9 レンズ取り外しボタン（18）

10 ズームロックスイッチ（26）

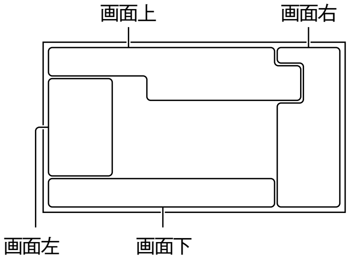
11 レンズフード（12）

12 レンズ（17）

13 ズームリング（26）

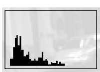
14 フォーカスリング（26）

画面表示



Om	プロテクト
STBY/REC	撮影状態
00:00:00	カウンター(時:分:秒)

画面上

P A S M	露出モード
	人物ブレ軽減
	手持ち夜景
L M S L M S	静止画の画像サイズ/画像横縦比
100	静止画撮影可能枚数
FX FH HQ	動画の画質
	メモリーカード
123分	動画の録画可能時間の目安
	バッテリー容量
OFF	動画音声記録
	手ブレ警告
	温度上昇警告
FULL ERROR	管理ファイル警告/管理ファイルエラー
	ヒストグラム
101-0012	再生フォルダー-ファイル番号

画面左

SLOW REAR	フラッシュモード/赤目軽減
10 2 BRK C 0.3EV BRK C 0.7EV	ドライブモード
AF MF DMF AF-S AF-C	フォーカスモード
±0.0	調光補正
	測光モード
GAIN AUTO	ゲイン
ISO AUTO	ISO感度
AWB WB 7500K	ホワイトバランス
Std. Vivid Port. Land. Sunset B/W	クリエイティブスタイル
D-R OFF DRO AUTO HDR AUTO	DRO/オートHDR

⚡●	フラッシュ充電表示

画面下

● ((●)) (( ))	フォーカス状況
1/125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
±0.0	露出補正
2010-1-1 9:30AM	画像の記録日時
12/12	画像番号/日付内·再生フォルダー内画像枚数
OFF	手ブレ補正切
HDR !	オートHDR処理結果

画面右

ソフトキー	20ページをご覧ください。

- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。AC アダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

指示

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

禁止

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

つづき

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

禁止

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

禁止

フラッシュなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

禁止

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

禁止

視力障害や失明の原因となります。

⚠注意 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

禁止

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

つづき

⚠注意 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**けがや財産に損害**を与えることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブルは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

禁止

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

指示

直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。

禁止

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。	禁止
⚠注意	• 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人 JBRC ホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

索引

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

"ハンディカム" の最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

"ハンディカム" ホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
"ハンディカム" の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

付属ソフトウェア(PMB)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

●使い方相談窓口
フリーダイヤル..................... 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話..................... 0466-31-2511
最初のガイダンスが流れている間に下記番号+「#」を押してください。
本機や付属品:「422」
付属ソフトウェア「PMB」:「404」
受付時間:月～金 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

●修理相談窓口
フリーダイヤル..................... 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話..................... 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「422」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX(共通):0120-333-389